

第8回 全国女性フォーラム広島大会

日時：令和6年4月18日(木)
場所：広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

「今、みつめなおそう!～多島美の瀬戸・豊かな里山から～」と題し、沢山の来賓の方々と全国から1700名の会員が集まり、晴天のすがすがしい天候に恵まれ第18回法人会全国女性フォーラム広島大会が開催されました。当会は、部長他3名で参加させて頂きました。

第1部は2024年4月 広島交響楽団 桂冠指揮者に就任された 下野竜也氏による講演でした。学生時代から沢山の師に学び、大変ではあったが今思えばその厳しさがあったから今の自分があると振り返っておられました。しかし昔の教育は通用しない難しい今の世の中。どうすれば次の

世代に伝える事が出来るのか悩んでいましたが、今の若者にはチャンスを与え実践する場を与える事、悩んだときには手を差し伸べて見守る事を心がけていらっしゃるようです。これは働く場にも通じることだと考えさせられました。講演後の広島ウインドオーケストラはしっとりした曲と華やかな曲で素晴らしい演奏でした。



第2部は主催者挨拶・来賓祝辞の後、活動発表があり、絵はがきコンクールをはじめとした租税教室と「食品ロス」削減への取り組みを発表されました。

第3部はウエルカム演奏で始まりました。簡単な手話を伝授して頂き、皆で歌に合わせて手話をした瞬間会場が一つになり温かい気持ちになりました。その後飲食を伴う懇親会へと進み瞬間に閉会の時刻を迎え、広島県の温かいおもてなしに感謝しつつ来年の北海道での再会を楽しみに散会しました。初めての全国大会は心に残る旅となりました。

ありがとうございました。

(I・K)



はぐるま

42号

ごあいさつ

部会長 秋山 さなみ



夏も盛りを過ぎ、朝夕秋の気配を感じる今日この頃ですが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

皆様におかれましては、日頃から津法人会女性部会の活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今、私たちの身の回りでは様々な事柄が急速・急激に変化しており、諸問題山積の状況です。会運営におきましても、避けては通れない現実です。会活動が通常どおり行える中、皆様のお知恵・お力をお借りしまして、より一層活発で楽しく感性豊かなものにして参りたいと思います。

また、10月には本会の創立70周年記念大会と県連女連協第30回情報交換会主管開催がございます。こちらへのお力添えもよろしくお願いいたします。

立秋を過ぎたとはいえ、暑さは今しばらく続くと思われますので、皆様方どうぞご自愛くださいませ。

結びに、今後も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様に素敵で幸せな日々を訪れと、ご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

新春のつどい

日時：令和6年1月18日(木) 12:00~14:30
場所：シャトー ラ・パルム・ドール

津税務署長・第一統括官・保険会社各位他総勢50名の参加を頂き新春の集いを開催させていただきました。

年初より心痛む自然災害や航空機事故などがあつた中、私たちがこのような時間を過ごせたことは当たり前ではなく、改めて心から感謝の気持ちでいっぱいになりました。



お洒落で美味なお料理と心地よいフルート・ピアノ・サクソ演奏♪ また元気いっぱいパワー全開のローカルアイドル“強烈”の方々に盛り上げていただきました。皆様からは有意義な時間でしたとお言葉を頂戴し嬉しい限りです。

本当にありがとうございます。

2024年が会員皆様にとって幸多い充実した一年でありますように♡

(O・M)



報告会

日時：令和6年5月14日(火)
場所：徳川美術館・徳川園

今年の報告会は久しぶりにバスに乗ってお出かけしました。前日の肌寒い雨の一日とうってかわって素晴らしい晴天に恵まれ幸運でした。車中で総務委員長から令和5年度の事業報告・会計報告および令和6年度の事業計画の説明を受けました。

その後、愛知県にある徳川美術館、徳川園へと向かいました。

館内にある宝善亭で美味しい昼食をいただき、おなか一杯になりました。自由行動で徳川美術館を見学し、徳川園の庭園を散策しました。

徳川家の歴史ある貴重な展示品は月替わりの展示が行なわれており、大変興味深いものでした。また新緑で覆われた庭園は快晴のもと、とても心地よく心身ともに癒されました。最後に金シャチ横丁に立ち寄ったあと帰路につきました。非日常のひとつを過ごすことができ、会員どうしの親睦を兼ねた楽しい報告会となりました。

(T・Y)



税務研修会

日時：令和6年6月13日(木) 14:30~15:30
場所：アスト津4階 会議室1
演題：「定額減税をふまえた源泉所得税事務の注意点」
講師：津税務署法人課税第一部門 濱中流奈氏



6月13日「定額減税をふまえた源泉所得税事務の注意点」につきまして税務研修会がありました。

お忙しい中講師をして頂きました税務署濱中氏の丁寧な説明があり、質問もたくさんありました。

経理担当者の増えた仕事量をまじかに見るにつけ、現場の状況を考え余裕を持った政策をお願いできないものかと考えさせられます。

減税はとても有難い事ですが・・・

(O・M)

世界の税の歴史

外国にも変わった税金があったよ



1) カエル税

中世ヨーロッパは、領主が地域の土地や領民を支配していたいわゆる封建社会で、領主の意向により、いろいろな税がかけられていました。その1つが「カエル税」。中世フランスで、安眠を妨害するカエルの大合唱に腹を立てた領主が、カエルを黙らせるために民に課した労役税です。

集められた領民が、カエルが鳴くたびにお城の堀の水面を棹で叩いたそうです。

2) 空気税

フランスのルイ15世の時代の財務長官エティヌ・ド・シルエットという人は、人間の吸う空気にまで税金をかけようとしていました。当時のフランスは、イギリスとの7年戦争や王室の浪費により財政難に陥りました。財務長官に就任したシルエットは、まず、貴族や僧侶に税金をかけようとして失敗し、遂に空気にまで税金をかけようとしたそうです。しかし、国民の反対にあい、わずか9か月で財務長官を辞任したそうです。

3) ソフトドリンク税

虫歯の増加に頭を悩ませたアメリカのノース・カロライナ州では、虫歯の原因となるソフトドリンクの飲み過ぎを減らそうとして1969年に、州内でソフトドリンクの製造・販売を行う一定の者に対して、税金をかけるソフトドリンク税を作りました。

